

令和3年1月18日

豊洲市場における地下水等管理に関する協議会

座長	岡山大学名誉教授	西垣	誠
委員	元富山大学大学院教授	丸茂	克美
委員	産業技術総合研究所主任研究員	小野	恭子

第10回 豊洲市場における地下水等管理に関する協議会における 報告事項に対する評価・意見について

① 空気・地下水質調査結果について

対 象 : 空 気 : 令和元年11月から令和2年11月測定分(毎月)

地下水質 : 令和元年11月、令和2年2月、5月、8月、11月測定分

空気調査結果については、いずれの測定結果も大気環境基準等に適合しており、科学的な視点から安全は確保された状態にあると考えられる。また、地下水質調査結果については、濃度が上昇傾向を示した地点や低下傾向を示した地点も存在しているが、全体的に見れば、大きく汚染状況が変化した傾向は確認できない。

豊洲市場が安全・安心な市場として運営されていることについて、都民から一層の理解が得られるよう、今後とも、空気調査、地下水質調査を継続し状況を確認するとともに、正確な情報を公表することが重要である。

② 地下水位の状況について

対 象 : 令和元年12月から令和2年12月測定分(概ね週1回)

地下水管理システムにより、豊洲市場の地下水は安定的に揚水されており、梅雨・台風時期等を除けば、平均水位はA.P.+2.0m以下となっている。

令和2年は、春先から梅雨時期にかけて多くの降雨があり、雨が浸透しやすい緑地帯などの一部の箇所で一時的に地下水位が上昇したが、地下水管理システムを適切に運用することにより、全体的には水位は低下傾向で推移している。

引き続き、地下水位の変動を踏まえ、地下水管理システムを適切に運用していくことが重要である。

③ 地下水位上昇抑制対策について

浸透した雨水を有孔管で集水する手法は、地下水位が上昇しやすい一部区域でウェルポイント工を補完し、地下水管理システムの機能を十分に発揮させるものとして有効であると考えられる。6街区で試験的に施工した後、モニタリングを行い、その有効性を確認することが必要である。

④ 地下ピット内の床面補修について(完了報告)

地下ピット床面の補修工事が確実に行われていることが確認できた。引き続き、地下ピット内の維持管理を適切に実施することが大切である。